

真夏の瀬戸内紀行(その1)

ジャンボフェリー「りつりん2」で神戸から高松へ

2021-7-30 池田良穂

「日本の旅客船III」が完成して、ご予約をいただいた会員への発送も終わったので、ふらりと瀬戸内海に出かけました。とはい、高松～池田(小豆島)航路に7月21日に就航した国際両備フェリーの「第十一こくさい丸」と、瀬戸田の内海造船で進水したマリックスラインの「クィーンコーラルクロス」の姿を見るという目的はありました。

朝4時半に堺の自宅を出発して、神戸港に向い、6時発のジャンボフェリーの「りつりん2」に乗船。小豆島の坂手に寄ってから高松に向いますが、坂手までより高松までの運賃の方が安いという不思議な料金体系になっています。島料金ということなのでしょう。神戸で乗船した乗用車は、小豆島行きが10台ほどでしたが、高松行は筆者の1台だけでした。

乗船したら、すぐに名物のうどんと朝食をとるといよいよ出港。神戸港内では、レストラン船「ルミナス神戸2」と「シルフィード」の姿が見えました。

港内にある川崎重工も三菱重工も、一般船舶の建造をしていないので少し寂しい中の出港でしたが、珍しい内航客船の姿がありました。沖縄で活躍していた粟国村営の「フェリー粟国」です。白と黒のツートンカラーに塗装が変わり、船籍港が神戸に変わっていました。第2の人生はどこで送るのでしょうか。

神戸港を出ると沖合には練習帆船「海王丸」が錨泊していました。

南に向けて出港した「りつりん2」は、西に針路を変えて明石海峡航路に入ります。神戸製鋼の鋼材を運ぶRORO貨物船「日春丸」等と反航して、続いて名門大洋フェリーの「フェリーきたきゅうしゅうII」とは明石海峡大橋の近くで反航しました。

播磨灘に入って南下すると、次々と内航貨物船、外航貨物船の姿が見えました。9時20分に坂手に到着して、すぐに出港して高松に向います。途中で、瀬戸内海本航路と交差しますので、その時に遭遇する出会船に期待が高まります。この日は、JFEの鋼材運搬RORO船と出会いました。遠くに、高松から小豆島の池田港に向う「第十一こくさい丸」が見えました。マストに鼻を高く上げた象のモニュメントが見えました。高松からの「第一こくさい丸」に乗船できれば、洋上で航走する「第十一こくさい丸」の姿が見られそうと期待が高まりました。

高松に近づくと疾走する黒い高速艇の姿が見えました。AISで確認すると「Barca Solare」で、大島と庵治町を結んでおり、特定旅客航路として国立療養所大島青松園職員の通勤専用航路となっているようです。

続いて土庄航路のカーフェリー「第2しようどしま丸」の姿が見えたところで、「りつりん2」は南に変針して高松東港へと入港しました。

下船して、高松港へと急ぎ、11時10分発の「第一こくさい丸」に乗船することができました。



神戸港に停泊する「りつりん2」です。この船ももうすぐ代替とのことです。



神戸港内にはレストラン船「ルミナス神戸 2」の姿がありました。



神戸港内に「フェリー栗国」の姿がありました。塗装は沖縄での就航時から変わり、船籍も神戸に変わっていました。



村営船として活躍していた頃の「フェリー栗国」の姿です。泊港を出港して栗国島に向う時の姿です。



神戸港外には練習船「海王丸」が錨泊していました。



RORO 鋼材運搬船「日春丸」と反航しました。



井本商運の内航フィーダーコンテナ船「たからづか」と反航しました。



名門大洋フェリーの「フェリーきたきゅうしゅうII」とは、明石海峡大橋の近くで反航しました。



播磨灘に入ってすぐ住金物流の鋼材等重量物運搬 RORO 船「泉翔」と反航しました。この船は、シップ・オブ・ザ・イヤー2000 の受賞船です。洋上で出会うのは久しぶりでしたので、ちょっと感動しました。



小豆島の坂手港を出港後、瀬戸内海の本船航路をクロスして高松に向います。JFE 物流の運航する鋼材運搬 RORO 船「緑隆丸」が追い抜いていました。



小豆島に向う国際両備フェリーの新造フェリー「第十一こくさい丸」の姿が遠望できました。



疾走する高速旅客船「Barca Solare」の姿が遠望できました。大島の国立療養所の職員の送迎用に使われているようです。



小豆島の土庄に向う「第一しょうどしま丸」の姿です。小豆島フェリーの運航で航海時間は1時間です。



台形の屋島の先端をかわすと、「りつりん 2」は左に針路を変えて、高松東港のフェリーターミナルに向います。



入港前、右舷側には高松港が見えました。高いシンボルタワーの下に小豆島および直島航路のフェリーターミナル、その左に高速旅客船の浮桟橋があります。「りつりん 2」が到着した高松東港からこの高松港まで、車で10分ほどでした。